

中信教育事務所では、先生方の目指す授業づくり具現のための学校訪問となるよう、カリキュラム・マネジメントの3つの側面（教科等横断的な視点、教育課程の評価・改善、人的又は物的な体制の確保）を踏まえて支援をします。

Q1 **ゾーン訪問** では、ゾーン担当主事等が「学校のPDCAサイクルに寄り添った支援」を行うということですが、もう少し詳しく教えてください。

ゾーン訪問 訪問者 【ゾーン担当指導主事（都合がつかない場合は、訪問可能な指導主事）】
支援対象【全校研究、研究主任、研修会、初任研チーム等】

A1 「信州型ユニバーサルデザインに基づく支援」、「全国学力・学習状況調査に係る支援」を行います。 **NEW!**

信州型ユニバーサルデザインに基づく支援(例)

- 1 学校が目指す子ども像具現のためのよさと課題を共有する
 - (1) 信州型UDの8つの窓口をもとに、自校で明らかにしたいよさ、課題は何かを考える
 - (2) そのよさや課題はなぜ生まれるかを、信州型UD20の着眼点をもとに省察する
- 2 実践を通して、学校が目指す子ども像具現のためのあり方考える
- 3 UDカードを用いながら、学校が目指す子ども像具現のための取り組みを各教科・領域で見直す
- 4 見直した取り組みを実践し、学校が目指す子ども像具現のための取り組みのよさと課題を共有する

1(1)のところで研究主任との懇談をお願いすると、研究主任が考えていることのよさを学校全体に広げていくことができそうだな。

全国学力・学習状況調査に係る支援(例)

- 1 学校が目指す子ども像具現のためのよさと課題を共有する
 - (1) 早期採点をもとに、自校のよさ、課題は何かを考える
 - (2) そのよさを伸ばし、課題が改善できるよう、各教科・領域の指導計画を見直す
- 2 実践を通して、学校が目指す子ども像具現のためのあり方考える
- 3 S-P表をもとに実践を省察し、学校が目指す子ども像具現のための取り組みを各教科・領域で見直す
- 4 見直した取り組みを実践し、学校が目指す子ども像具現のための取り組みのよさと課題を共有する

3のところで訪問をお願いすると、S-P表から見えたよさを他教科に広げられそう。S-P表をもとにした授業づくりの研修をお願いしよう。

ゾーン訪問は、ゾーン担当指導主事（都合がつかない場合は、訪問可能な指導主事）が訪問するよ。上記の他に下記のような要請にも対応するよ。学校と打ち合わせをしながら支援していくね。

- 信州型UD推進校への支援(例)
 - ・「個に応じた指導の研究」への助言
 - ・授業公開への参観・助言
 - ・ゾーン内への情報提供

- 初任研対象校への支援(例)
 - ・「初任者を育てるメンターチーム」への運営面等に係る助言
 - ・「初任者の授業づくり」への助言

※S-P訪問等で事務所から訪問をお願いする場合もあります。

ゾーン訪問は年間を通じて要請を受け付けているよ。半日のみの訪問など時間については柔軟に対応できるので、電話やメール等でゾーン担当主事に相談してね。

Q2 **単元訪問** では、各校のカリキュラム・マネジメントに応じた要請に対応できるようにするというのですが、もう少し詳しく教えてください。

単元訪問 訪問者 【特定の教科・領域等の指導主事】
支援対象【教育課程、全校研究、研究グループ、教科会等】

A2 学校のPDCAサイクルの実情に合わせて複数回の訪問をアレンジ（下記参照）して、要請することができます。

単元訪問の支援場面(例)

- 1時間の授業は何のために行うかを、授業者や研究グループと共有する場面（願いの共有）
共有した願いを具現化するための具体的な支援を考える場面（単元構想）
- 授業者が実践する場面（授業参観）
- 実践を省察し、学校が目指す子ども像をもとに支援のよさを共有する場面（振り返り）

複数回の訪問(例)

① 願いの共有からじっくり進めたい場合

② 単元構想をじっくり考えて進めたい場合

③ 振り返りから新たな実践につなげたい場合

④ 研究グループの方向性や手立ては見えてきているから、実際の授業を見てもらってその成果を広げていきたいな。

その場合は事前に願いを共有し、1回目の訪問を授業参観と研究会（係内授業後係内指導）、2回目の訪問を研究会（係内指導）で要請することもできるね。

※単元後の振り返りを自校で行ったり、複数人、複数回の授業参観・研究会を計画したりするなど、各校で訪問回数や内容についてはアレンジできます。
※午前、午後、終日等の時間については、各校の日課等にあわせてご検討ください。

単元訪問では、特定の教科・領域等の指導主事が訪問するよ。そして、先生のこれまでの実践にあるよさを共有しつつ、子どもの学びの笑顔に向かってもう一歩進むための支援を共に考えるよ。
教育課程研究協議会は、「単元訪問」で要請してね。
指定研究や同好会などの研究会当日1回の訪問については、令和元年度と同様「その他の訪問」で要請することができるよ。

NEW! 学校訪問では、子どもと先生がみているその先にあるものを、一緒にみることができるよう、学校と相談しながら支援していきます。
不明な点は、中信教育事務所 学校教育課までお気軽にご相談ください。

